

## 平成28年入込観光客総評

平成29年6月 箱根町企画観光部観光課

平成28年の入込観光客は、大涌谷周辺の火山活動により大変厳しい状況にあった前年から徐々に賑わいを取り戻し、更に7月には大涌谷園地が一部を除き立入可能となったこともあり、19,000千人台まで回復する結果となった。

入込観光客総数は、19,565千人（前年比112.6% 2,189千人の増）と前年を大きく上回る結果となった。その内訳は、宿泊客が4,339千人（前年比118.4% 674千人の増）、日帰り客が15,226千人（前年比111.1% 1,515千人の増）となっている。

### 1 宿泊客について

施設形態別に見ると、旅館・ホテルは3,730千人（前年比118.6% 585千人の増）、寮・保養所が540千人（前年比116.8% 78千人の増）、そして、その他の施設（民宿、国民宿舎、ユースホステル、ペンション及びキャンプ場）が69千人（前年比118.1% 10千人の増）と全ての施設形態において、前年を上回る結果となった。

一般客は、3,852千人（前年比117.4% 570千人の増）、外国人観光客は462千人（前年比122.4% 85千人の増）とどちらも前年を大きく上回り、特に前年の減少が大きかった修学旅行生については24千人（前年比492.4% 19千人の増）と大幅に増加した。

一般客及び修学旅行生は、平成26年には及ばないものの、大きく落ち込んでいた前年からの回復傾向を顕著に感じられる結果となった。また、外国人観光客についても、訪日外客数の増加を背景に順調な伸びを示し、40万人を大きく上回り過去最高を記録した。

### 2 日帰り客について

日帰り客も、宿泊客同様に大涌谷周辺の火山活動の活発化によるダメージから回復しつつあることを感じる事ができた。

大涌谷園地開放に向けた様々な安全対策の整備を進める中、ようやく7月26日に立入規制が解除されたことに加え、積極的なイベント実施や民間事業者等による新規施設のオープン、そしてこれらのメディアへの露出なども大きな要因となり、前年を大きく上回る結果となった。

### 3 月別入込み状況について

1月に行われた恒例の東京箱根間往復大学駅伝は、元旦から積雪のあった前年に比べ、沿道の観客は多いようであったものの、中旬以降は積雪による公共機関の乱れもあり全般的には静かな状況であった。2月は、中国と韓国の旧正月の時期が重なったことから、町内各所で両国からの旅行者の姿が多く見受けられ、3月はイースター休暇を利用した欧米からの外国人観光客が多く見られた。4月、5月のゴールデンウィーク期間中は、4月23日に箱根ロープウェイが桃源台から大涌谷間が一部再開したことなどもあり、宿泊施設もほぼ満室となるなど各地で賑わいが見られた。6月は、噴火警戒レベルが「3」へ引き上げられて大きく落ち込んだ前年に比べ、日帰り客、宿泊客ともに大幅な回復がみられた。7月は、26日に待望の大涌谷園地一部開放、箱根ロープウェイの全線開通など明るいニュースが報じられ、大涌谷を中心に賑わいが見られた。8月は、当町の観光における繁忙期である夏休みシーズンであったが、日本人選手の活躍が注目された、リオデジャネイロオリンピックが開催されたことに伴う出控えなどの影響を受けた月となり、前年と比べてもそれほど大きく伸びなかった。9月は、日本全国で雨天や曇天が続き、記録的な日照不足となった事なども影響し、全般的に低調であった。秋の行楽シーズンである10月は、ハイカーを中心に賑わい、町内の主要道路でも混雑がみられるとともに、宿泊施設も好調であった。11月は24日にこの時期としては、54年ぶりとなる積雪を記録し各所で大きな混乱が起きたものの、前半は紅葉や仙石原すすき草原が見頃を迎えたことから週末には町内各所で混雑がみられ、全体としては好調であった。12月は、年末の休暇が短くなっていることなどが影響してか、静かな年末となった。

なお、平成28年に最大の入込みがあったのは、仙石原すすき草原、紅葉が見頃になった11月であり、次いでゴールデンウィークもあり、新緑が非常に美しい季節である5月という状況であった。

### 4 まとめ

平成28年は、大涌谷周辺の火山活動の活発化から1年が経過し、大涌谷園地開放に向けた避難誘導マニュアルの改訂や火山性ガス常時監視システムの設置などの様々な安全対策の強化を図るとともに、官民を挙げた入込観光客回復に向けた各種の取り組みなどにより、大変厳しい状況であった前年を大きく上回り、「箱根再始動」を印象付ける結果となった。一方で、火山性ガス等の影響により、大涌谷自然研究路や周辺のハイキングコースが依然として通行止めとなっている状況もあり、20,000千人回復までには至らなかった。

当町では、2019年ラグビーワールドカップ決勝大会、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた、国内外に向けた各種の取り組みによ

り、更なる誘客を図るとともに、9月に「箱根ジオパーク」へ南足柄市が編入され、新たに認定されたことも踏まえ、より広域的な滞在型観光地づくりを進めてきたものであるが、今後もこうした取り組みの推進や様々な資源の活用を図っていこうと考えているものである。

平成29年は、オール箱根での観光地経営を進めていくため、箱根版DMOの設立に向けた動きを加速させていくとともに、民間事業者による施設等のリニューアルや新規オープンが相次ぐことから、これらの取り組みによる更なる箱根ブランドの磨き上げを図ることで、観光客20,000千人台の回復に向け努力していきたいと考えている。

平成28年 月別入込観光客数一覽

(単位:人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	268,837	289,549	353,018	300,719	293,675	250,325	299,643	399,720	298,581	325,052	336,612	314,638	3,730,369	118.6%
(内数:一般客)	236,321	249,365	309,080	240,125	259,700	220,371	256,277	357,687	266,433	278,764	298,608	281,332	3,254,063	117.4%
(内数:外国人客)	32,474	39,205	42,788	54,849	31,943	29,276	39,674	35,540	30,074	45,390	37,611	33,306	452,130	122.4%
(内数:修学旅行者)	42	979	1,150	5,745	2,032	678	3,692	6,493	2,074	898	393	0	24,176	498.3%
民宿・国民宿舎 ユースホステル等	1,622	1,531	2,367	1,815	1,970	1,402	2,197	3,571	2,193	2,453	2,549	2,430	26,100	113.1%
(内数:外国人客)	442	557	723	762	751	546	954	1,140	892	1,117	967	819	9,670	126.1%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	29	0	0	0	11	0	0	36	0	76	104.1%
ペンション	333	283	497	268	359	177	277	749	368	465	500	449	4,725	120.2%
(内数:外国人客)	4	12	3	16	10	7	15	14	6	10	21	7	125	463.0%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
キャンプ場・コテージ	967	653	2,021	2,033	4,383	1,974	4,568	8,759	4,843	3,296	2,344	1,887	37,728	121.5%
(内数:外国人客)	24	32	16	6	64	12	29	83	56	48	25	17	412	80.8%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
寮・保養所	37,248	31,072	47,000	42,075	45,737	36,352	45,603	71,167	39,136	46,952	51,142	46,418	539,902	116.8%
宿泊客計	309,007	323,088	404,903	346,910	346,124	290,230	352,288	483,966	345,121	378,218	393,147	365,822	4,338,824	118.4%
(内数:外国人客)	32,944	39,806	43,530	55,633	32,768	29,841	40,672	36,777	31,028	46,565	38,624	34,149	462,337	122.4%
(内数:修学旅行者)	42	979	1,150	5,774	2,032	678	3,692	6,504	2,074	898	429	0	24,252	492.4%
日帰客	837,439	1,004,927	1,583,522	1,522,617	1,735,784	1,400,808	1,065,832	1,476,939	883,118	1,172,415	1,690,110	852,665	15,226,176	111.1%
観光客総数	1,146,446	1,328,015	1,988,425	1,869,527	2,081,908	1,691,038	1,418,120	1,960,905	1,228,239	1,550,633	2,083,257	1,218,487	19,565,000	112.6%

## 過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数			平成18年	4,618,012
年	宿泊客数(人)	対前年比	対H18年比	対前年増減比(人)
19	4,722,093	102.3%	102.3%	104,081
20	4,727,069	100.1%	102.4%	4,976
21	4,525,157	95.7%	98.0%	△ 201,912
22	4,646,053	102.7%	100.6%	120,896
23	4,280,639	92.1%	92.7%	△ 365,414
24	4,631,951	108.2%	100.3%	351,312
25	4,716,936	101.8%	102.1%	84,985
26	4,606,751	97.7%	99.8%	△ 110,185
27	3,665,231	79.6%	79.4%	△ 941,520
28	4,338,824	118.4%	94.0%	673,593

(2) 日帰客数			平成18年	14,631,988
年	日帰客数(人)	対前年比	対H18年比	対前年増減比(人)
19	15,539,907	106.2%	106.2%	907,919
20	15,949,931	102.6%	109.0%	410,024
21	15,123,843	94.8%	103.4%	△ 826,088
22	15,389,947	101.8%	105.2%	266,104
23	13,390,361	87.0%	91.5%	△ 1,999,586
24	14,806,049	110.6%	101.2%	1,415,688
25	16,140,064	109.0%	110.3%	1,334,015
26	16,583,249	102.7%	113.3%	443,185
27	13,710,769	82.7%	93.7%	△ 2,872,480
28	15,226,176	111.1%	104.1%	1,515,407

(3) 観光客総数			平成18年	19,250,000
年	観光客総数(人)	対前年比	対H18年比	対前年増減比(人)
19	20,262,000	105.3%	105.3%	1,012,000
20	20,677,000	102.0%	107.4%	415,000
21	19,649,000	95.0%	102.1%	△ 1,028,000
22	20,036,000	102.0%	104.1%	387,000
23	17,671,000	88.2%	91.8%	△ 2,365,000
24	19,438,000	110.0%	101.0%	1,767,000
25	20,857,000	107.3%	108.3%	1,419,000
26	21,190,000	101.6%	110.1%	333,000
27	17,376,000	82.0%	90.3%	△ 3,814,000
28	19,565,000	112.6%	101.6%	2,189,000